

Dell™ 2208WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

製品の特徴

[製品の特徴](#)
[部品とコントロールの確認](#)
[モニター仕様](#)
[ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)
[プラグアンドプレイ機能](#)
[保守のガイドライン](#)

モニターのセットアップ

[スタンドを取り付ける](#)
[モニターの接続](#)
[ケーブルの整理](#)
[サウンドバーの取り付け\(オプション\)](#)
[スタンドを取り外す](#)

モニターの操作

[前面パネルコントロールの使用](#)
[オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)の使用](#)
[最適解像度を設定する](#)
[Dellサウンドバー\(オプション\)を使う](#)
[傾き、回転および高さを利用する](#)
[モニターの回転](#)
[オペレーティングシステムの回転設定の調整](#)

問題を解決する

[モニターのトラブルシューティング](#)
[一般的问题](#)
[製品別の問題](#)
[ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
[Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング](#)

付録

[安全に関する注意事項](#)
[FCC通知\(米国のみ\)](#)
[Dellに問い合わせ](#)

注、注記および注意



注意: 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。



注記: モニターが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、Dellテクニカルサポートに連絡してください。



注意: 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。
© 2007 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 *Dell*、*DELL*、ロゴ、*Inspiron*、*Dell Precision*、*Dimension*、*OptiPlex*、*Latitude*、*PowerEdge*、*PowerVault*、*PowerApp* および *Dell OpenManage* は、Dell社の商標です。*Microsoft*、*Windows*、および *Windows NT* は、マイクロソフト社の登録商標です。*Adobe* は Adobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。*ENERGY STAR* は、米国環境保護省の登録商標です。*ENERGY STAR* パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、*ENERGY STAR* ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 2208WFP

2007年8月

Rev. A01

[目次ページに戻る](#)

モニターについて

Dell™ 2208WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)
- [プラグ・アンド・プレイ機能](#)
- [保守のガイドライン](#)

製品の特徴

2208WFP フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターには、以下が含まれます。

- 22インチ(558.8 mm)表示可能領域のディスプレイ。
- 1680 x 1050解像度、さらには低い解像度の場合は全画面サポート。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- 取り外し可能台座とVESA 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルCDには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッピングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能(エネルギースターに準拠)。
- セキュリティロックスロット

部品とコントロールの確認

正面図



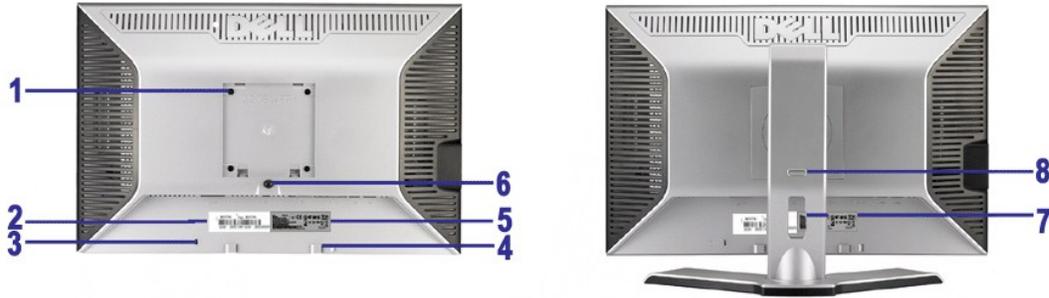
正面図



前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	入力ソースの選択
2	OSDメニュー/選択ボタン
3	明るさとコントラスト / ダウン (-) ボタン
4	自動調整 / アップ (+) ボタン
5	電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)

後方図

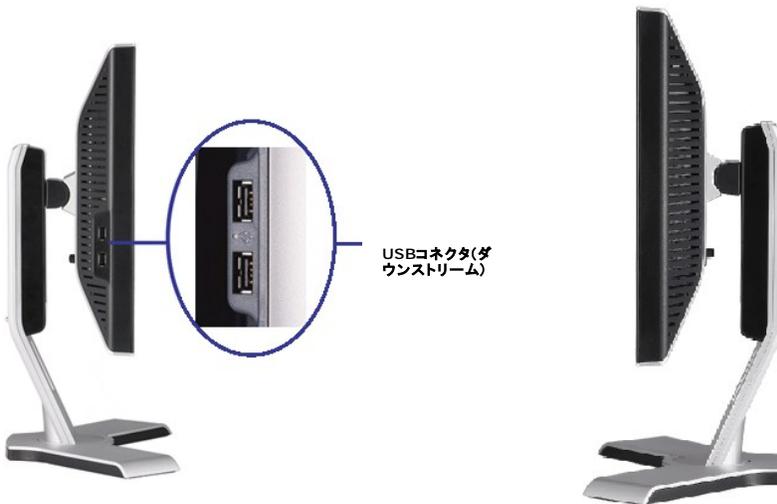


後方図

背面図(モニタのスタンド付き)

ラベル	説明	説明
1	VESA取付ホール(100mm)(取り付けたベースプレートの背面)	これを使って、モニターを取り付けます。
2	バーコード・シリアル番号ラベル	Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
3	セキュリティ・ロック・スロット	スロットのあるセキュリティ・ロックを使用して、モニターを固定します。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションのDellサウンドバーを取り付けます。
5	規制定格ラベル	規制承認を表示します。
6	スタンド取外しボタン	押して、スタンドを取り外します。
7	ケーブル管理ホール	穴に通して、ケーブルを束ねやすくします。
8	ロックダウン/取外しボタン	モニターを下方に押し、ボタンを押して、モニターのロックを解除します。次に、モニターを必要な高さまで持ち上げます。

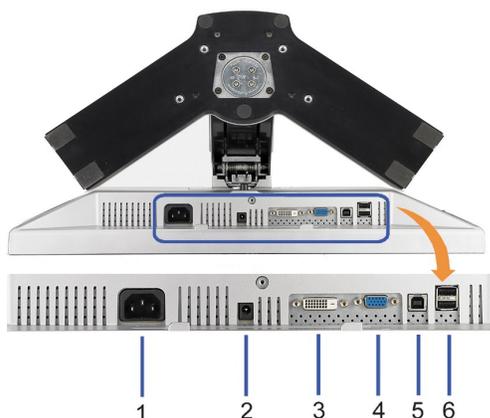
側面図



左側面

右側面

底面図



ラベル	説明
1	AC電源コードコネクタ。
2	DellサウンドバーのDC電源コネクタ。
3	DVIコネクタ
4	VGAコネクタ
5	USBアップストリーム・コネクタ
6	USBコネクタ

モニター仕様

次のセクションでは、さまざまな電源管理モデルとモニタのさまざまなコネクタのピン割り当てについて説明します。

電源管理モード

ESAのDPM™互換ディスプレイカードまたはソフトウェアがPCIにインストールされている場合、モニタは不使用時電力消費を自動的に低減します。これは電力節約モードと呼ばれます。コンピュータがキを入力を検出すると、モニタは自動的に機能を回復します。この自動電力節約機能の電力消費と信号規格は以下の表の通りです：

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転(DellサウンドバーおよびUSBが有効になっている場合)	有効	有効	有効	緑	75W(最大)
通常運転	有効	有効	有効	緑	45W(一般)
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

OSD は通常操作モードでのみ機能します。[メニュー]または[プラス]ボタンをアクティブオフモードで押すと、次のメッセージのどれかが表示されます。

アナログ入力カイン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。

または

デジタル入力カイン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。

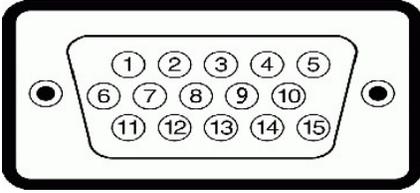
コンピュータとモニタをオンにして、OSDにアクセスします。

 **注意:** 本モニターは、ENERGY STAR® 準拠で、TCO '99/TCO '03 電源と互換性があります。

* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

ピン割当

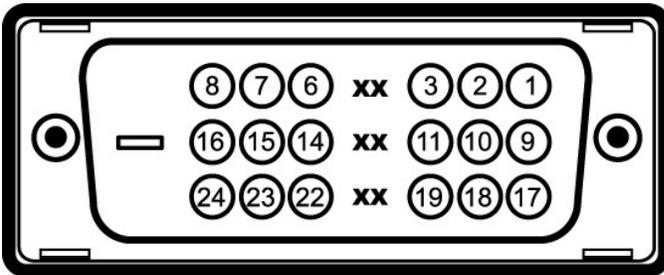
VGAコネクタ



ピン番号 15-pin側面信号ケーブルのモニター側面

1	ビデオ-赤
2	ビデオ-緑
3	ビデオ-青
4	GND
5	自己テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5V
10	GND
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

DVIコネクタ



ピン番号 24-pin側面信号ケーブルのモニター側面

1	T.M.D.S. データ2-
2	T.M.D.S. データ2+
3	T.M.D.S. データ2シールド
4	接続なし
5	接続なし
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	接続なし
9	T.M.D.S. データ1-
10	T.M.D.S. データ1+
11	T.M.D.S. データ1シールド
12	接続なし
13	接続なし
14	+5V電源
15	自己テスト
16	ホットプラグ検出
17	T.M.D.S. データ0-
18	T.M.D.S. データ0+

19	T.M.D.S. データシールド
20	接続なし
21	接続なし
22	T.M.D.S. クロックシールド
23	T.M.D.S. クロック+
24	T.M.D.S. クロック-

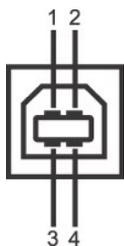
ユニバーサルシリアルバス(USB)インターフェイス

本項では、モニタの左側で使用できるUSBポートについて説明します。

 **注意:** このモニターは、高速認定USB2.0インターフェイスをサポートしています。

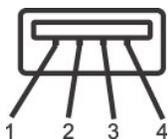
移動の速度	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W(最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W(最大、各ポート)
低速度	1.5Mbps	2.5W(最大、各ポート)

USB アップストリームコネクタ



ピン番号	4ピン(コネクタの側面に表示)
1	DMU
2	VCC
3	DPU
4	GND

USB ダウンストリームコネクタ



ピン番号	4ピン(コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	DMD
3	DPD
4	GND

USBポート:

- 1 1アップストリーム-後方
- 1 4ダウンストリーム-後方に2つ、左側面に2つ

 **注意:** USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。

 **注意:** モニターのUSBインターフェイスは、モニターの電源がオンになっている場合(あるいは電源セーブモードで)のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェイスが秒後、通常機能に回復させます。

プラグ・アンド・プレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル(DDC)プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニタの据付けは自動です。必要な場合は、違う設定を選択できます。モニタ設定の変更の詳細については、「[モニタの操作](#)」を参照して

フラットパネル仕様

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
画面寸法	22インチ(22インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	
水平	473.76 mm (18.7 インチ)
垂直	296.1 mm (11.7 インチ)
ピクセル・ピッチ	0.282 mm
表示角度	160°(垂直) タイプ、160°(水平) タイプ
ルミネンス出力	300 CD/m ² (タイプ)
コントラスト比	1000 ~ 1 (タイプ)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (4) エッジライト・システム
応答時間	5ms一般

解像度仕様

水平走査幅	30kHz~83kHz
垂直走査幅	56Hz~76Hz
事前設定の最適解像度	60Hzで1680 x 1050
事前設定の最高解像度	75Hzで1680 x 1050

Video Supported Modes

ビデオ表示機能(DVI再生)	480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p (HDCP のサポート)
----------------	---

事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル・クロック(MHz)	同期種(水平/垂直)
VESA, 720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA, 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	135.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1680 x 1050	65.2	60.0	146.3	-/+
VESA, 1680 x 1050	64.6	60.0	119.0	+/-

電氣的仕様

ビデオ入力信号	アナログRGB、0.7ボルト +/-5%、正電極が75オーム入カインピダンス デジタル DVI-D TMDS、50オーム入カインピダンスで各微分線、正電極に対して600mV
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリー-TTLレベル、SOG(複合同期オン・グリーン)
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 2.0 A (最大)
インラッシュ電流	120V: 42A (最大)

物理特性

コネクタ・タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル: デジタル: 取り外し可能、DVI-D、固定ピン、モニターから取りはずして出荷 アナログ: 取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニターに取付
寸法 (スタンド付き)	
高さ(圧縮)	14.18 inches (360.24 mm)
高さ(拡張)	18.12 inches (460.24 mm)
幅	20.13 inches (511.41 mm)
奥行き	5.45 inches (138.50 mm)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	13.19 inches (334.94 mm)
幅	20.13 inches (511.41 mm)
奥行き	2.56 inches (65.00 mm)
スタンド寸法	
高さ(圧縮)	12.58 inches (319.53 mm)
高さ(拡張)	14.24 inches (361.18 mm)
幅	15.96 inches (405.30 mm)
奥行き	7.73 inches (196.50 mm)
重さ	
重さ(パッケージ含む)	18.78 lbs (8.53 kg)
重さ(スタンド・アセンブリとケーブル含む)	14.87 lbs (6.75 kg)
重さ(スタンド・アセンブリなし) (壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし)	10.88 lbs (4.94 kg)
スタンド・アセンブリの重さ	3.99 lbs (1.81 kg)

環境特性

温度:	
運転時	5° ~ 35°C (41° ~ 95° F)
運転停止時	スレープ: 出荷時 -20° to 60° C (-4° to 140° F) -20° ~ 60° C (-4° ~ 60.00° C)
湿度:	
運転時	10%~80%(結露しないこと)
運転停止時	スレープ: 5%~90%(結露しないこと) 出荷時: 10%~80%(結露しないこと)
高度:	
運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (1,219,200.00 cm) 最大
熱発散	256.08 BTU/時 (最大) 153.6 BTU/時 (一般)

保守のガイドライン

モニターを清掃する



警告: モニターの清掃前には、[安全指示書](#)を読み、従ってください。



警告: モニターの清掃前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

ベストプラクティスを実現するために、モニタを開梱、洗浄、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください。

- 1 静電気防止スクリーンを清掃するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン清掃ティッシュまたは静電気防止コーティングに適した溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- 1 ぬるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニタを洗浄します。合成洗剤によりモニタの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- 1 モニタの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 1 暗色系モニタは明色系モニタよりも傷がつきやすく、傷が白く目立ちやすいので、注意深く取り扱ってください。
- 1 モニタの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニタの電源をオフにしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

付録

Dell™ 2208WFP フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [安全指示](#)
- [米国連邦通信委員会\(FCC\)通告\(米国内のみ\)およびその他規制に関する情報](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)



警告: 安全指示



警告: このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります

安全に関する注意事項については、[製品情報ガイド](#)を参照してください。

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページwww.dell.com/regulatory_complianceをご覧ください。

Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。



注: インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. support.dell.com にアクセスします。
2. ページ下部の Choose A Country/Region [**国/地域の選択**]ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の Contact Us [**連絡先**]をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

[目次ページに戻る](#)

[目次に戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2208WFP フラットパネルモニターユーザーズガイド

インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

1. <http://support.dell.com> に移動し、サービスタグを入力したら、グラフィックスカードの最新ドライバをダウンロードしてください
2. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び 1680x1050 に設定します。

 **注:** 解像度 1680x1050 に設定できない場合、™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプタを調べてください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

モニタのセットアップ

Dell™ 2208WFP フラットパネルモニタユーザーズガイド

非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. **詳細設定**を選択します。
4. ウィンドウ上部の説明から、グラフィックスコントローラサプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
5. 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください。
6. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1680x1050**に設定します。

 **注:** 解像度を1680x1050に設定できない場合、コンピュータの製造元にお問い合わせになるか、1680x1050 のビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入をご考慮ください。

[目次に戻る](#)

モニタの操作

Dell™ 2208WFPフラットパネルモニタユーザーズガイド

- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)の使用](#)
- [最適解像度を設定する](#)
- [Dellサウンドバー\(オプション\)を使う](#)
- [傾き、旋回および垂直拡張を使う](#)
- [モニタの回転](#)
- [オペレーティングシステムの回転設定の調整](#)

前面パネルコントロールの使用

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。



前面パネルボタン	説明
<p>A</p>  <p>入力ソースの選択</p>	<p>入力選択ボタンを使って、モニターに接続する2つの異なるビデオ信号の間のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: VGA 入力 1: DVI-D 入力 <p>VGA と DVI ケーブルを1台のPCに接続してある場合、ビデオ信号がVGAまたは DVI 出力のいずれかにあるかぎり、このモニタは、自動的に画像を表示します。1つのディスプレイを2台のPCに接続する場合、スクリーンセーバーを使っている場合は、両方の時間を正確に合わせてください。マウスをはじめに動かしたほうが、ビデオ入力をはじめに起動します。</p> <p>入力を順番に表示すると、次のメッセージが表示され、現在選択されている入力ソースを示します。画像が表示されるまで、1秒から2秒かかります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1: 自動検出 (アナログ入力) </p> </div> <div style="font-size: 20px; vertical-align: middle;">または</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1: 自動検出 (デジタル入力) </p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>2: アナログ入力 </p> </div> <div style="font-size: 20px; vertical-align: middle;">または</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>3: デジタル入力 </p> </div> </div> <p>VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p> VGAケーブルなし </p> </div> <div style="font-size: 20px; vertical-align: middle;">または</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p> DVI-Dケーブルなし </p> </div> </div>
<p>B</p>  <p>OSDメニュー/選択</p>	<p>MENU(メニュー)ボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。「メニューシステムにアクセスする」を参照してください。</p>
<p>C</p>  <p>明るさ/コントラストホットキー</p>	<p>「明るさ」および「コントラスト」コントロールメニューに直接アクセスするには、このボタンを使用します。</p>
<p>C および D</p>  <p>ダウン (-) およびアップ (+)</p>	<p>これらのボタンを使用してナビゲートし、OSDでスライダバー(範囲の縮小/増加)コントロールを調整します。</p>

 <p>自動調整</p>	<p>このボタンを使って、自動設定を有効にしメニューを調整します。モニターが電流入力を入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。</p>  <p>自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル・クロック(粗い)、フェーズ(微調整)コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。</p> <p>注: 自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。</p>
 <p>電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)</p>	<p>電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。</p> <p>緑のLEDは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。黄色のLEDは、DPMS電源セーブ・モードを表します。</p>

オンスクリーンディスプレイ(OSD)の使用

メニューシステムへのアクセス

注: 設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

1. メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

アナログ(VGA)入力用メインメニュー



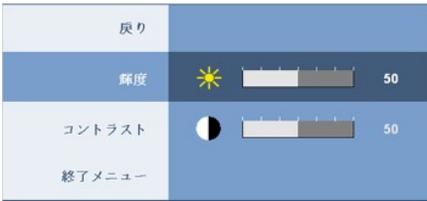
または

非アナログ(非VGA)入力用メインメニュー



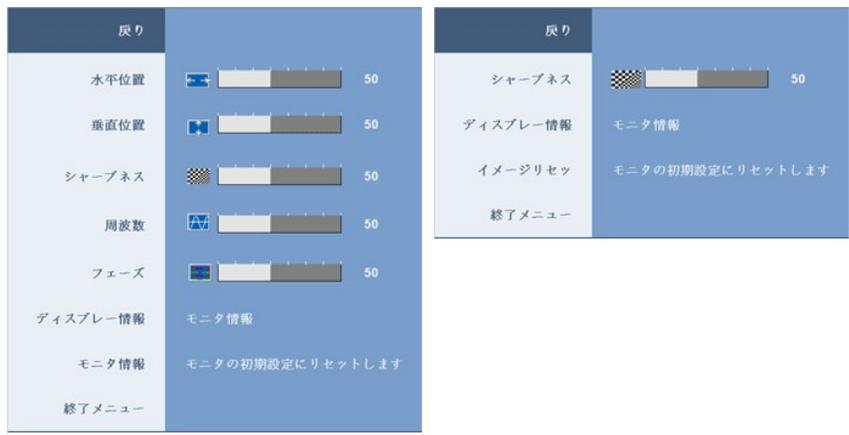
注: 自動調整は、アナログ(VGA)コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。

2. および ボタンを押して、設定オプションを移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。
3. メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。
4. および ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。
5. を押して、スライドバーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、 および ボタンを使って、変更します。
6. 「戻る」オプションを選択してメインメニューに戻るか、「終了」を選択してOSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを選択して、終了します。
	明るさ&コントラスト	<p>このメニューを使って、明るさ/コントラスト調整を有効にします。</p>  <p>戻る を使ってメインメニューに戻ります。</p> <p>明るさ 明るさで、バックライトのルミネナンスを調整します。 ボタンを押して明るさを上げるか、 ボタンを押して明るさを下げます (最小0~最大100)。</p>

	<p>コントラスト 最初に明るさを調整し、さらに調整が必要な場合のみ、次にコントラストを調整します。</p> <p>④ ボタンを押してコントラストを上げるか、⑤ ボタンを押してコントラストを下げます(最小0～最大100)。「コントラスト」機能で、モニタ画面の暗さと明るさの程度を調整します。</p> <p>⑥ を押してOSDメインメニューを終了します。</p> <p>メニューの終了</p>
	<p>自動調整 コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。</p> <div style="background-color: #336699; color: white; padding: 5px; text-align: center;">自動調整中.....</div> <p>注: ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。</p> <p>注: AUTO ADJUST (自動調整) オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。</p>
 <p>戻る</p>  <p>VGA</p>  <p>DVI-D</p> <p>ソースのスクリーン</p> <p>メニューの終了</p>	<p>入力ソース INPUT SOURCE(入力ソース)メニューを使って、異なるビデオ信号の間でモニタに接続するものを選択します。</p> <div style="background-color: #336699; color: white; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid white; margin-bottom: 5px;"> 戻り </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> VGA  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> DVI-D  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 終了メニュー </div> </div> <p>⑥ を使ってメインメニューに戻ります。</p> <p>VGA アナログ (VGA) コネクタを使用しているとき、VGA 入力を選択します。⑥ を押して、VGA 入力ソースを選択します。</p> <p>DVI-D デジタル (DVI) コネクタを使っているときは、DVI-D 入力を選択します。⑥ を押して、DVI 入力ソースを選択します。</p> <p>ソースのスクリーン ⑥ を押して、使用可能な入力信号をスキャンします。</p> <p>メニューの終了 ⑥ を押してOSDメインメニューを終了します。</p>
 <p>プリセット設定</p> <p>プリセット設定サブメニュー</p> <p>戻る</p> <p>入力色形式</p>	<p>プリセット設定 Preset Mode(プリセットモード)を使って、色設定モードと色温度を調整します。VGA/DVI-Dおよびビデオ入力の場合、さまざまな色設定サブメニューがあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>VGA/DVI-D 入力の場合のプリセット設定サブメニュー</p> <div style="background-color: #336699; color: white; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid white; margin-bottom: 5px;"> 戻り </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 入力カラー形式 RGB YPbPr </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> ガンマ PC MAC </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> カラー設定モード グラフィック ビデオ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> プリセットモード デスクトップ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> マルチメディア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> ゲーム </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> sRGB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 暖色 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 寒色 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> カスタム (R,G,B) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 終了メニュー </div> </div> </div> <div style="width: 48%;"> <p>ビデオ入力の場合のプリセット設定サブメニュー</p> <div style="background-color: #336699; color: white; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid white; margin-bottom: 5px;"> 戻り </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 入力カラー形式 RGB YPbPr </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> カラー設定モード グラフィック ビデオ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> Preset Modes Movie </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> Game </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> スポーツ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 自然色 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 色相 50 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 彩度 50 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> カラーリセット カラーの初期設定にリセットします </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 終了メニュー </div> </div> </div> </div> <p>⑥ を使ってメインメニューに戻ります。</p> <p>入力色形式 PC RGBおよびHD YpbPrに対して、異なる色ドメインを有効にします(HD YpbPrはDVIでビデオを再生するのに適しています。PC RGBはDVIで通常のPCグラフィックスを表示するのに適しています)。</p>

	Gamma	PCおよびMacに対して異なる色モードを有効にします。
	色設定モード	グラフィックスモードとビデオモードを切り換えることができます。コンピュータがモニタに接続されている場合、グラフィックスを選択してください。DVD、STB、またはVCRがモニタに接続されている場合、ビデオを選択します。
	色プリセット (VGA/DVI-D入力)	PC RGBおよびHD YpbPrに対して、異なる色ドメインを有効にします (HD YpbPrはDVIでビデオを再生するのに適しています。PC RGBはDVIで通常のPCグラフィックスを表示するのに適しています)。
	デスクトップモード	デスクトップアプリケーションに適したモード。
	マルチメディアモード	マルチメディアアプリケーション用のモード (たとえば、ビデオ再生)。
	ゲームモード	ゲームアプリケーションに適したモード。
	sRGBモード	72% NTSC色をエミュレートするためのモード。
	ウォームモード	ウォームモードは、赤褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつう色集中アプリケーション (写真画像編集、マルチメディア、ムービーなど) に使います。
	Cool MOde	クールモードは、青褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつうテキストベースのアプリケーション (スプレッドシート、プログラミング、テキストエディタなど) に使います。
	カスタム (R、G、B) モード	 または  ボタンを使用して、3色 (R、G、B) のそれぞれを独立して 0~100 まで 1 桁ずつ増加または減少します。
	プリセットモード (ビデオ入力)	
	ムービーモード	ムービー再生に適したモード。
	ゲームモード	ゲームアプリケーションに適したモード。
	スポーツモード	スポーツシーンに適したモード
	ネイチャーモード	ネイチャーシーンに適したモード。
	色合い	プラスおよびマイナスボタンを使って、0~100まで1桁ずつ、3色それぞれ (R、G、B) を増減します。  ビデオイメージシェードの緑を強くします。  ビデオイメージシェードの紫を強くします。 注: 色合いは、ビデオ入力の場合のみ使用できます。
	彩度	この機能は、ビデオ画像の色を緑から紫にシフトします。これは、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。- または + を使って、「0」から「100」まで色合いを調整します。  ビデオイメージのモノクロを強くします。  ビデオイメージをよりカラフルにします。 注: 彩度は、ビデオ入力の場合のみ使用できます。
	ニューの終了	 を押してOSDメインメニューを終了します。
	画像設定	
	画像設定サブメニュー	VGA入力の場合の画像設定サブメニュー DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー



戻る

を使ってメインメニューに戻ります。



水平位置

または ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。
注: DVIソースを使用しているとき、水平設定は使用できません。



垂直位置

または ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。
注: DVIソースを使用しているとき、垂直設定は使用できません。



シャープネス

この機能により、画像はシャープにまたはソフトに表示されます。
 または を使って、「0」から「100」までシャープネスを調整します。



ピクセルクロック

ピクセルクロックおよびフェーズ調整で、モニターをお好みにあわせ調整することができます。これらの設定は、「画像設定」を選択することで、メインOSDメニューからアクセスできます。
 または ボタンを使って、最高の画像品質になるように調整します。



フェーズ

フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル・クロック(粗い)を使い、次にフェーズ(細かい)をもう一度使います。
注: ピクセルクロックとフェーズ調整は、「VGA」入力の場合のみ使用できます。

画像情報

このモニターに関連するすべての設定。

画像プリセット

画像を工場出荷時の設定にリセットします。

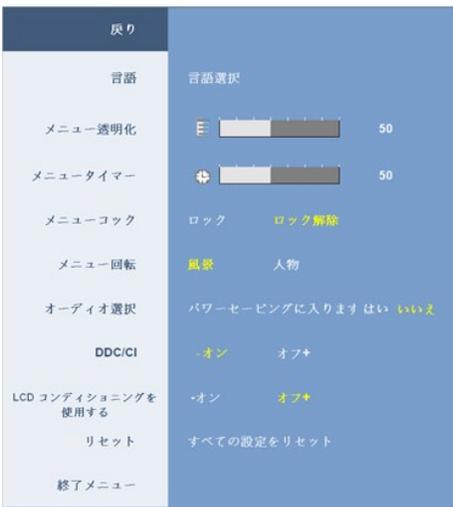
メニューの終了

を押してOSDメインメニューを終了します。



その他の設定

その他の設定サブメニュー



戻る	 を使ってメインメニューに戻ります。
言語	言語は5ヶ国語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、日本語)のうち1つで表示を行うようにOSDディスプレイを設定できます。
 メニューの透明性	この機能は、OSDの背景を不透明から透明まで調整するために使用されます。
 メニュータイムマ	OSDホールド時間時間の長さを設定すると、OSDはボタンを最後に押した後に有効になります。  または  ボタンを使って、1~60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。
メニューロック	調整に対するユーザアクセスを管理します。[ロック]  を選択した場合、ユーザ調整はできません。  ボタン以外、ボタンはすべてロックされます。 注: OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。[いいえ]  を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。
メニューの回転	OSDを反時計方向に90度回転します。「 ディスプレイ回転 」に従って、メニューを調整できます。
オーディオ(オプション)	モニターが電源セーブ・モードの場合、オーディオをオンまたはオフにするように選択できます。 デフォルトは、[有効]です。[無効]を選択して、この機能を無効にすることができます。 はい - コンピュータが省電力モードでもオーディオをオンにします。 いいえ - コンピュータが省電力モードのときオーディオのオンを無効にします。
DDC/CI	DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ(明るさ、配色等)を調整できます。 モニタのユーザー体験を最高にし最適なパフォーマンスを達成するために、この機能は常に有効にしておいてください。 <div data-bbox="397 882 1039 976" style="background-color: #334d5d; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> PCアプリケーションを使用してディスプレイ設定を調整する機能は無効になります。 DDC/CIはオフに変わってもいいですか? -いいえ はい+ </div>
LCD条件設定	モニターで画像が固まった場合、LCD条件設定を選択し、残留画像を削除します。LCD条件設定機能の使用には、数時間が必要な場合があります。残留画像の程度がひどいものは焼付けとして知られ、LCD条件設定機能では、この焼付けを削除することができません。 <div data-bbox="397 1092 1039 1186" style="background-color: #334d5d; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> この機能はまれに生じる残像を削減するのに役立ちます。 残像の度合いによりプログラムを実行するまで時間がかかることがあります。 続行しますか? -いいえ はい+ </div>
オーディオ	OSDメニュー・オプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。
メニューの終了	 を押してOSDメインメニューを終了します。

OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。

<p>1: 自動検出 (アナログ入力 )</p> <p>入力信号はサポート範囲以外です このビデオモードは表示できません PCのモニター解像度 1680 X 1050 @ 60Hzを設定してください</p>	または	<p>1: 自動検出 (デジタル入力 )</p> <p>入力信号はサポート範囲以外です このビデオモードは表示できません PCのモニター解像度 1680 X 1050 @ 60Hzを設定してください</p>
<p>2: アナログ入力 </p> <p>入力信号はサポート範囲以外です このビデオモードは表示できません PCのモニター解像度 1680 X 1050 @ 60Hzを設定してください</p>	または	<p>3: デジタル入力 </p> <p>入力信号はサポート範囲以外です このビデオモードは表示できません PCのモニター解像度 1680 X 1050 @ 60Hzを設定してください</p>

これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、モニター仕様を参照してください。推奨モードは、1680 X 1050です。

DDC/CI機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます。

PCアプリケーションを使用してディスプレイ設定を調整する機能は無効になります。
DDC/CIはオフに変わってもいいですか? いいえ はい+

モニタが省電力モードに入ると、次のメッセージが表示されます。

パワーセービング

コンピュータを有効にしてモニターを立ち上げ、[OSD](#)にアクセスします。

VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。

最適解像度を設定する

モニタを最適の解像度に設定するには、

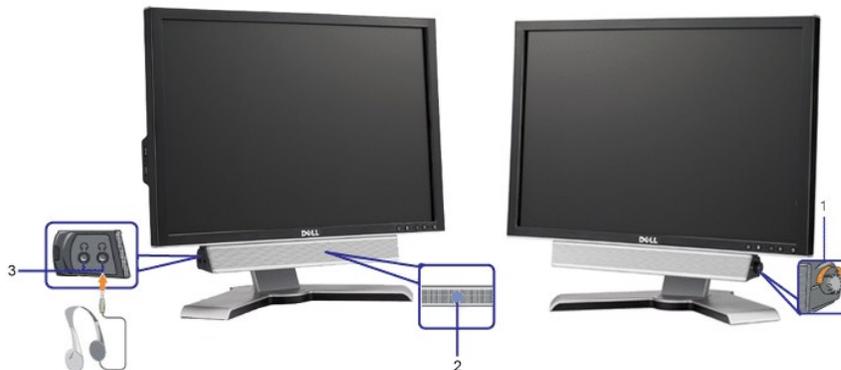
1. デスクトップを右クリックして、**プロパティ**を選択します。
2. **設定**タブを選択します。
3. 画面解像度を1680 x 1050に設定します。
4. **OK**をクリックします。

オプションとして1680 x 1050がない場合は、グラフィック・ドライバを更新する必要があります。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

- 1 Dellデスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合:
 - o [support.dell.com](#)に進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。
- 1 Dell以外のコンピュータ(ポータブルまたはデスクトップ)をお使いの場合:
 - o コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
 - o グラフィックス・カード・ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

Dellサウンドバー(オプション)を使う

TDellサウンドバーはDellフラットパネルディスプレイの取り付けに適した2つのチャンネルシステムから成っています。?サウンドバーには全体システム・レベルを調整する回転音量とオン/オフ・コントロール、電源表示用の緑のLEDおよびオーディオ・ヘッドセット・ジャック2つが搭載されています

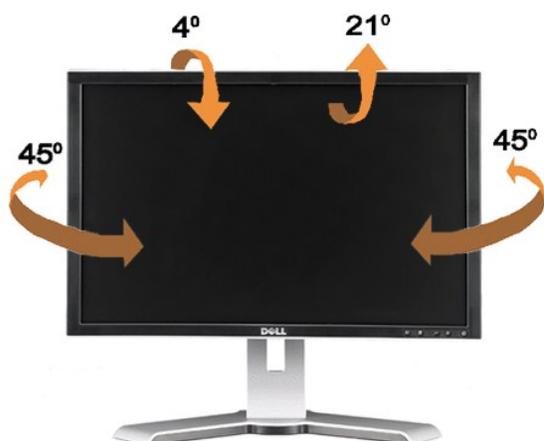


1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン・コネクタ

傾き、旋回および垂直拡張を使う

傾斜/回転

付属の台座を使えば、モニタを最適な視野角に設置できます。



 **注:** モニタが工場から出荷される時、スタンドは取り外され引き伸ばされます。

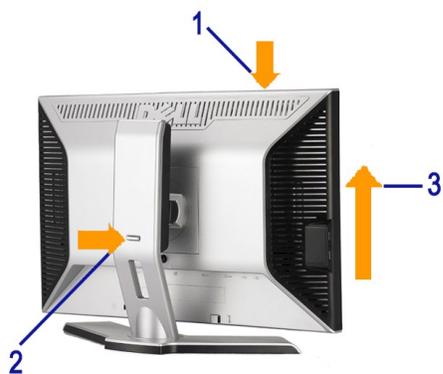
垂直延長

Tスタンドは、最大100mm垂直に延びます。以下の図は、スタンドを垂直に延ばす方法を示しています。



 **注:** 下方位置にロックされている場合

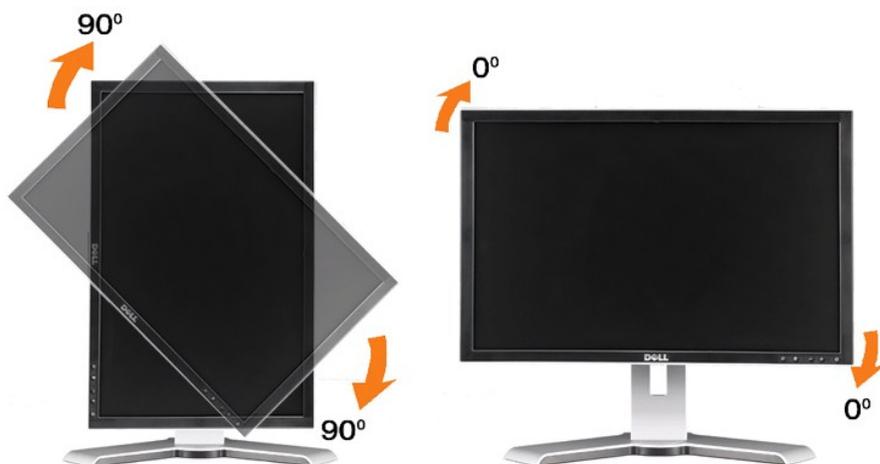
1. モニタを押し下げます。
2. スタンド下部後方の[ロックダウン/解除]ボタンを押して、モニタをロック解除します。
3. モニタを持ち上げ、スタンドを必要な高さに延ばします。



 **注意:** モニタを別の場所に再配置または移動させる前に、スタンドがロックダウンされていることを確認してください。ロックダウンするには、カチッと音がして、正しい位置に入るまで、パネルの高さを下げます。

モニターの回転

モニターを回転させる前に、モニターの下の方角が回りにぶつからないように高さ(縦に伸ばす)と角度(傾き)を調整してください。



 **注:** Dellコンピュータで「ディスプレイ回転」機能(横対縦表示)を使用するには、このモニターに含まれていない最新のグラフィックスドライバーが必要です。最新のグラフィックスドライバーをダウンロードして更新するには、support.dell.comに移動し、**ビデオドライバーのダウンロード**セクションを参照してください。

 **注:** 縦表示モードに入っているとき、グラフィックを大量に使用するアプリケーション(3Dゲームなど)でパフォーマンスが落ちることがあります。

オペレーティングシステムの回転設定の調整

モニターを回転させて使用する場合、オペレーティングシステムにて次の手順を踏んでください。

 **注:** Dellコンピュータ以外でモニターを使用している場合、グラフィックス・ドライバーのウェブサイトまたはお使いのコンピュータの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティング・システムの回転についての情報を確認します。

1. デスクトップを右クリックして、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択し、**アドバンス**をクリックします。
3. ATIがある場合は、**回転**タブを選択して、お気に入りの回転を設定します。
nVidiaがある場合は、**nVidia**タブをクリックして、左カラムで**NVRotate**を選択し、次にお気に入りの回転を選択します。
Intelがある場合は、**Intel**グラフィックス・タブを選択して、**グラフィックス・プロパティ**をクリックし、**回転**タブを選択し、次にお気に入りの回転を設定します。

 **注:** 回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、support.dell.comで、グラフィックス・カード用の最新ドライバーをダウンロードしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次に戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2208WFP フラットパネルモニタユーザーズガイド

ディスプレイ解像度を1680 x 1050(最適)に設定する「安全上の注意」

Microsoft WindowsR オペレーティングシステムを使用している間最適のディスプレイパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を 1680 x 1050 画素を設定します:

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. マウスの左ボタンを押し下げることによってスライドバーを右に移動し、スクリーン解像度を 1680X1050Iに調整します。
4. **OK**をクリックします。

オプションとして 1680X1050 が表示されない場合、グラフィックスドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピュータシステムをもっともよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください:

1: [インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合。](#)

2: [非Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合。](#)

[目次に戻る](#)

Dell™ 2208WFP フラットパネルモニタ

- [ユーザーガイド](#)
 - [ディスプレイ解像度を1680 x 1050\(最適\)に設定する「安全上の注意」](#)
-

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。
© 2007 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本文書で使用した商標 *Dell*、*DELL* ロゴ、*Inspiron*、*Dell Precision*、*Dimension*、*OptiPlex*、*Latitude*、*PowerEdge*、*PowerVault*、*PowerApp* および *Dell OpenManage* は、Dell社の商標です。*Microsoft*、*Windows*、および *Windows NT* は、マイクロソフト社の登録商標です。*Adobe* は *Adobe Systems* 社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。*ENERGY STAR* は、米国環境保護省の登録商標です。*ENERGY STAR* パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、*ENERGY STAR* ガイドラインに対応していることを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 2208WFP

Rev. A01 2007年8月

[目次ページに戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2208WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [スタンドを取り付ける](#)
- [モニターの接続](#)
- [ケーブルの整理](#)
- [サウンドバーの取り付け\(オプション\)](#)
- [スタンドを取り外す](#)

スタンドを取り付ける

 **注意:** 出荷時、スタンドはモニターに装着されていません。



平らな面にスタンドを置き、以下のステップに従ってモニタースタンドを取り付けてください。

1. モニター背面の溝をスタンド上部の2つのタブに合わせます。
2. モニターの取り付け領域がパチッと留まるか、スタンドにロックされるまで、モニターを下げます。

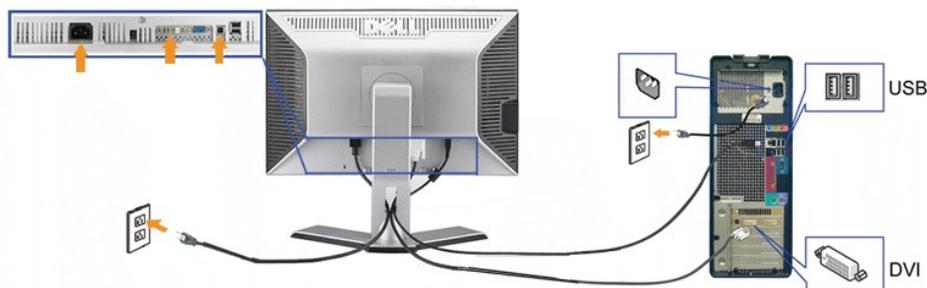
モニターの接続

 **警告:** このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#) にしたがってください。

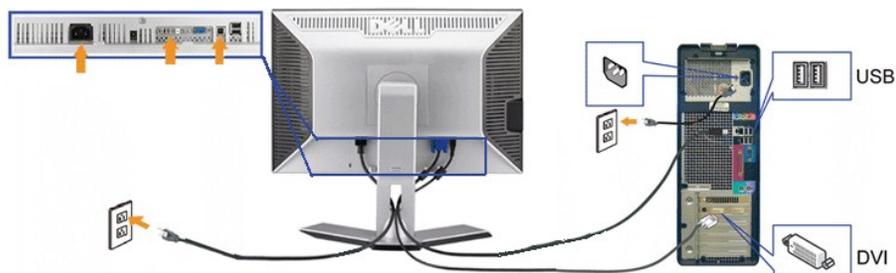
モニターをコンピュータに接続するには、次のステップ/指示を実行してください。

1. コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
1. 白い(デジタルDVI-D)または青い(アナログVGA)ディスプレイコネクタケーブルのどちらかをコンピュータ背面の対応するビデオポートに接続します。両方のケーブルを同じコンピュータで使用しないでください。2台の異なるコンピュータが適切なビデオシステムに接続されているときのみ、両方のケーブルを使用します。

白い DVI ケーブルの接続



青い VGA ケーブルの接続



注意: 画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピュータの外観は異なることがあります。

DVI/VGAケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。DVI/VGAケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。:

- 1 DVI/VGAケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。
- 1 USB周辺機器をモニタのダウンストリームUSBポート(背面または側面)に接続します。(鍾愛は、[背面図](#)または[底面図](#)を参照してください)。
- 1 コンピュータとモニタの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。
- 1 モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。
画像が見えない場合は、入力選択ボタンを押し、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。それでも画像が映らない場合は、[問題を解決する](#)を参照してください。
- 1 モニタスタンドのケーブルホルダを使用してケーブルを整理します。

ケーブルの整理



モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホルダを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

サウンドバーの取り付け



注記: Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

 **注意:** サウンドバーパワーコネクタ +12V DC 出力は、オプションのサウンドバー専用です。

1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
 2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
 3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
 4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します。
-

スタンドを取り外す

 **注意:** スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニタがきれいな表面に配置されていることを確認してください。

次のステップに従ってスタンドを取り外してください:



1. スタンドのリリースボタンに手が届くようにスタンドを回転します。
 2. スタンドリリースボタンを押し下げます。
 3. スタンドを持ち上げ、モニタから離します。
-

[目次ページに戻る](#)

問題を解決する

Dell™ 2208WFPフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [モニタのトラブルシューティング](#)
- [一般的問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
- [Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング](#)

警告: このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。

モニタのトラブルシューティング

自己テスト機能チェック(SIFC)

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください:

1. コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピュータの後ろかビデオケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル(白コネクタ)とアナログ(黒コネクタ)ケーブル両方を外します。
3. モニターの電源をオンにする。

モニタがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが(黒い背景に)表示されます。自己テストモードに入っている間、電源 LED は青く表示されています。また、選択した入力によっては、以下に示したダイアログボックスの 1 つが画面を連続してスクロールします。



4. ビデオケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにして、ビデオケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニタースクリーンに何も表示されない場合、ビデオコントローラおよびコンピュータシステム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。

一般的問題

次の表には、発生する可能性のあるモニタのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、モニターが無効	<ul style="list-style-type: none">1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します1 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。1 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさが低い	<ul style="list-style-type: none">1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none">1 OSDによって自動調整を実行します。1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。1 ビデオ拡張ケーブルを外します。1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。1 ビデオ解像度を正しいアスペクト比(16:10)に変更します
ビデオが揺れたり、ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none">1 OSDによって自動調整を実行します。1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。1 環境係数をチェックします1 モニタの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	液晶画面に黒い点が見つかる	<ul style="list-style-type: none">1 サイクル電源オン-オフ1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。
常時点灯する画素	液晶画面に光る点がある	<ul style="list-style-type: none">1 サイクル電源オン-オフ1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none">1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。1 OSDによって自動調整を実行します。1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。

幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。 <p>注意: 「2: DVI-D」を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。</p>
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。 1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 <p>注意: 「2: DVI-D」を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません。</p>
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 OSDによって自動調整を実行します。 1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。 1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 1 セーフモードでコンピュータを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> 1 トラブルシューティング手順を実行しないでください。 1 直ちにDellにご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> 1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。 1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。
スタックオンピクセル	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタの自己テスト機能チェックを実行します。 1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> 1 色設定OSDで、アプリケーションに応じて、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 1 色設定OSDで異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、色設定OSDでR/G/B値を調整します。 1 アドバンス設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。
長時間モニタに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	静止画像からのわずかな影画面にディスプレイが表示されます	<ul style="list-style-type: none"> 1 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニタの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します。長時間モニタに残ります。(詳細については、電源管理モード参照してください)。 1 または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品別の問題

特定の症状	現況	解決方法
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> 1 画像設定OSDで、スケールリング比設定を確認します。 1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。
ピクチャが画面全体に表示されない。	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。

 **注意:** DVI-D モードを選択しているとき、Auto Adjust (自動調整) 機能はご利用いただけません。

ユニバーサルシリアルバス固有の問題

特定の症状	現況	解決方法
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニターの電源がオンになっているかを確認します。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。 1 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。 1 コンピュータを再起動します。 1 外付けポータブルHDDのような一部のUSBデバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピュータシステムに直接接続してください。
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> 1 コンピュータがUSB2.0対応かどうかを確認します。 1 コンピュータの中には、USB 2.0とUSB 1.1ポートの両方を搭載しているものもあります。正しいUSBポートを使用されていることを確認してください。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。 1 コンピュータを再起動します。

Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング

一般症状	現況	解決方法
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない・電源インジケータがオフになっている (内臓DC電源・例.2208WFP)	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバー前面の電源インジケータ (緑のLED) が点灯した場合、サウンドバーの電源/音量ノブを時計方向に中央の位置まで回します。 1 サウンドバーからの電源ケーブルがモニターに差し込まれていることを確認します。 1 モニターの電源が入っていることを確認します。 1 モニターに電源が入っていない場合、モニター的一般問題について モニターに関するトラブルシューティングQ を参照してください。
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている・電源インジケータがオンになっている。	<ul style="list-style-type: none"> 1 オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 1 コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します (例.オーディオCDまたはMP3)。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います。	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。 1 オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います。	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 オーディオ・ソースの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール (L-R) を中間に設定します。 1 オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。
低音量	音量が低すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 1 オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。

[目次ページに戻る](#)